Arts-eihan

一丁目通信

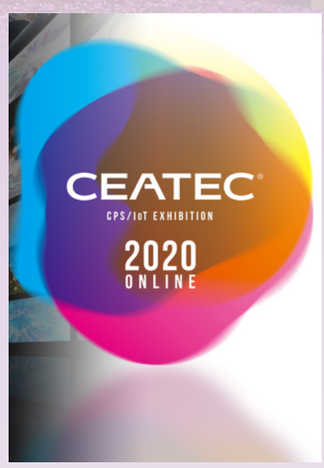
2020年　9月133号

発行：株式会社アーツエイハン
WEB：https://eihan.com　Mail：info@eihan.com
〒160-0022
東京都新宿区新宿 1-18-13　協建新宿一丁目ビル
TEL:03-3355-1241　FAX:03-5362-9325

新型コロナも収束はまだ先になりそうで、アフターコロナより、
ウィズコロナとしてのニューノーマルな生き方が続いてる。
災難が過ぎ去るのをまつのではなく、
災難の中で生きていくすべを考えなければいけないだろう。

CEATECオンライン展示会

記事：代表　飯塚 吉純

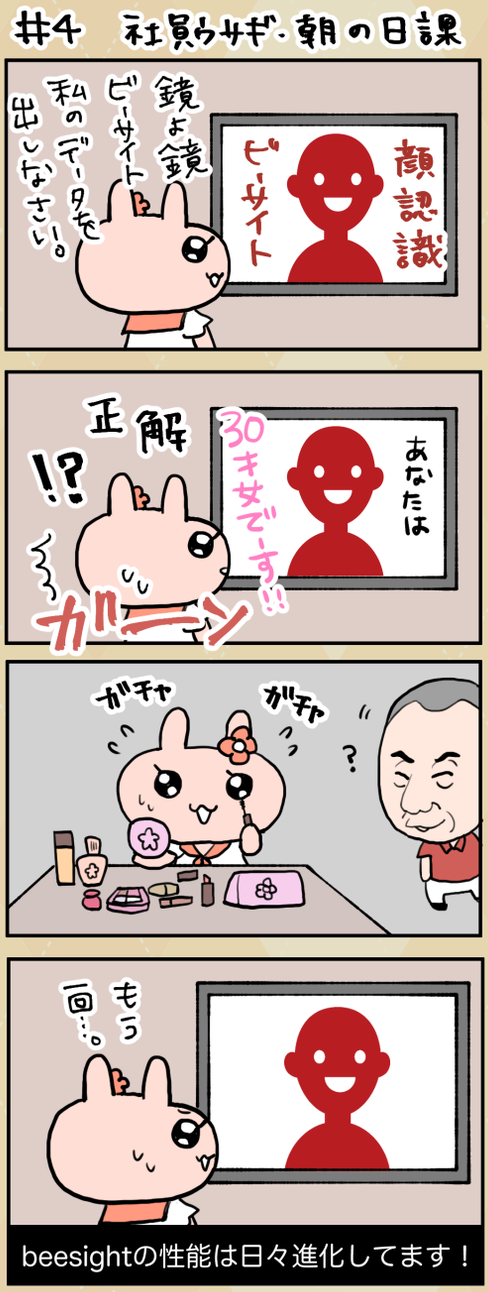


短い猛暑の夏は終わり、風は秋を感じるこの頃です。さて、秋に開催のピークを迎える国際見本市も相次ぎ中止となり、当社が通年出展していたCEATECもオンライン開催となりました。しかし、オンライン開催でも小間あたりの出展料は変わらず（1小間35万円也）、どんな最新テクノロジーのオンライン展示会になるのか、ワクワク感でいっぱいです。大規模展示会の代表であるCEATECの成否は、オンラインイベント市場の将来を見据える試金石となるのではないでしょうか。
リアルタイムのコミュニケーションを最も重視しWeb内で来場者が会場内を歩いていくようなイメージで企業ブースへ訪問でき、気になる製品やサービスがあればチャットで質問し、待機している説明員が回答。
具体的な商談は、Zoom等で即座に商談を行える仕組みだそう。
華のコンパニオンやノベルティの配布がなく、大規模出展社は大幅なコスト削減となるようで、「ニューノーマルという標語が出展社を引き付けている」と主催者はおっしゃっております。実際どれくらいの出展社数で、どんな展示会になるのは全く未知となりますが、是非、エイコムブースにお立ち寄り（？）くださいませ。
（10月20日～23日開催）

スピードとセキュリティと、チャンスロス

２社様から同時期に、同じようなライブ配信コンテンツ制作のご相談を頂いた時の話です。それぞれは全く関連が無い、全く別のご要件なのですが、スピードとセキュリティとのバランスに対する意識の差の重要さを、改めて非常に強く感じた出来事でした。
２社様のうちＡ社様は、オンライン配信に対するセキュリティと、その企画の打ち合わせ上でのセキュリティを、かなり気にされていました。ゆえに、そのツール選びと、参加者の選定も含めた打ち合わせの設定に、かなりの時間や期間を費やされていました。結果、この間費やした期間は、約３ヶ月です。
他方Ｂ社様は、同じような企画内容であるにも関わらず、結果から申しますと、企画内容の決定まで費やした期間は、約２週間です。
その差は約６倍、６分の１です。
Ａ社様の当企画は、実施することには至りそうなのですが、その内容的には、誠に僭越ながら、もう旬を逸してしまった感がございます。
他方Ｂ社様の当企画は、実はもう実施済みで、見事に旬を捉えられ、成功されました。ちなみにそのＢ社様との打ち合わせのほとんどは、スマホのオンラインツールで行いました。おかげで、場所や時間に過度に拘束されず、手間もかからず、関係者との情報共有もスムーズでした。
無論、それぞれの事情や考え方に違いがあるでしょうから、そもそも単純比較はできませんし、ゆえに、どちらが良いか悪いかと論ずる類の話ではありませんが。
さて、Ｂ社様の当責任者の方に私が敢えて、「このツールって、セキュリティってご心配にならないのですか？」とご質問した際のご返答内容が印象的です。曰く、「完璧なセキュリティなんて存在しないから。それに気を取られ過ぎて
スピードを落としたら、タイミングを逃すでしょ？そもそもオンライン企画なのに、それを逃したら、それ意味なく無い？」。

記事：取締役プロデューサー 西坂 義弘



※Beesight は弊社開発の顔認識システムです！
年齢、性別などの属性情報取得ができます！

記事：ＷＥＢチーム　山室 亜耶

Laravelを入れよう！

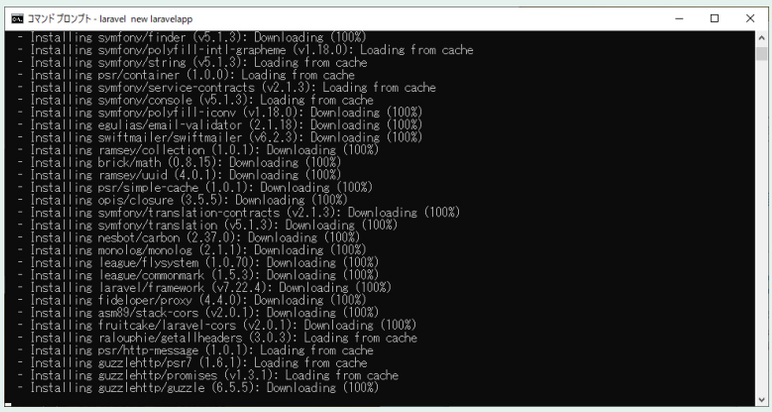
記事：
ＷＥＢチーム 鮎川 絢一

前回、社内の方々に何言っているかわからん！とご意見頂いたので、今回はより簡単に表現していきたいと思います。
今回は Laravel（ララベル）さん を招き入れて（インストール）してみましょう！
ララベルさんには色んなこだわりがあって、それを先に入れた作曲家さんに頼むと色んな音楽を奏でながらララベルさんの好きなお部屋を作ってくれます。早速お願いしていしてみると・・・

＜作曲家さん＞
ララベルさん これ好きだったな～
あ！これ置くならアッチのやつも必要か！
用意しなきゃ！ ..... できたー！
ララベルさん、いらっしゃい♪

＜ララベルさん＞
お！いいねぇ！
ここなら自由に動けそうだ。
少しここに住まわせてもらうよ～

ということでララベルさんがパソコンの中に来てくれました！
次回はララベルさんと一緒にプログラムを作っていきたいと思います！

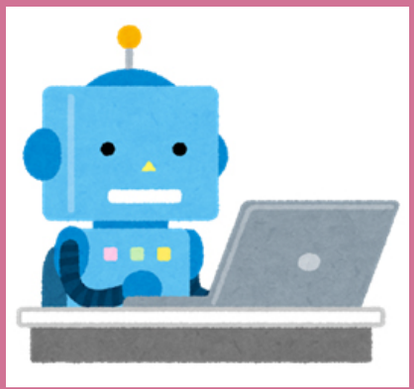


作曲家さんが、ララベルさんのお部屋を作っている様子

文章生成言語モデル『GPT-3』

記事：顔認識チーム 佐藤 成

先日、海外のコミュニティでは大変大騒ぎになった事件がありました。日本ではあまり騒がれていないようですが、それでも私の周りはそのニュースでざわついていました。

「GPT-3」

そう呼ばれたソイツは**「文章生成言語モデル」**というものだそうです。
難しい話は置いておいて、早い話ライターさんやデザイナーさん、プログラマーさん…
いえいえ、もっと広範囲に影響のある AI が登場したのです。
AI が仕事を奪うだなんて騒がれつつ、そんなのまだまだ先だよ。
と思っていたのですが、私が生きている間にその日は到来するかもしれません。
巷にはそれ AI ではないのでは？な商品もなど、チープな AI 崇拝を感じることもありますが、
ちょっと寒気の感じるレベルの「GPT-3」のようにハイレベルなものが登場してきています。
今後が楽しみでしかないですね！